

「保育付き！子育て教室」に関する活動協力

JA横浜では、農産物の普及や地域貢献活動、地産地消の推進などの目的でさまざまな料理教室を開催しています。乳幼児期のお子さんをもつお母さんたちが気軽に料理教室に参加できるように、本学との連携により、保育付きの料理教室を企画し、開催しています。今年度は6年目になります。毎年参加者の増減がありますが、昨年が1回あたり10組の参加でした。しかし、今年度は、開催場所や時期などの検討の結果、20組の親子と充実した時間を持つことができました。希望者は多数で、キャンセル待ちがあるほどです。

毎年実施する中で、①母子別々の活動であることでの丁寧なかかわりの必要性(母子分離のプロセスを工夫する技法の開発)②保育担当のチームワークの構築(方向性・内容性・関係性機能を意識したチーム保育)③安心・安全が実現する保育内容の工夫(衛生面発達への配慮)などの課題が明確化しました。本学で30年間実施されている幼稚園が生かされて、実施されています。

250組を超える親子との出会い



プロジェクト概要

●テーマ

子育て中のお父さん、お母さんを対象とした料理教室での保育内容を企画、運営する。

●パートナー

横浜農業協同組合(JA横浜)

●担当教員

田尻 さやか 助教

●実施期間

2013年5月～2019年3月

保育付き料理教室は、「JA横浜たすけ愛の会」のみなさんと本学学生、教員が保育を担当します。子どもたちがのびのびすごしている姿から、学生やたすけ愛の会の皆さんは喜びを感じていますが、参加者する親からの保育に対する期待を知ると、あらためて保育する「責任」について、考えことがあります。人との出会いの実際の場で感じることから学ぶことが多いります。

また、講座の中で子育てに役立つ情報をミニ講話の形でお母さんたちにお伝えしています。今年は教室のために用意した手作りおもちゃの紹介や家でもできる親子遊びを紹介しました。さらに、その日の保育の様子も伝えながら進める、日々の子育ての悩みを気軽に話せる子育て相談の場にもなって、子育て支援の1つの新しい形として機能しています。

